

5～6月上旬の農作業

気温の変化が激しい時期です。保温・換気に気を配りましょう！

種まき	定植（植付け）	作業のポイント
<b>葉菜類</b> ・ホウレンソウ （晩抽性のもの） ・コマツナ ・チンゲン菜 ・シュンギク <b>果菜類</b> ・モロヘイヤ ・スイートコーン <b>根菜類</b> ・ダイコン ・ニンジン ・カブ <b>豆類</b> ・枝豆（～5月下旬） ・サヤインゲン など	<b>葉菜・果菜類</b> ・ブロッコリー ・キャベツ ・各種トマト ・ナス ・ピーマン ・タマネギ （中生品種） ・サトイモ など <hr/> <b>収 穫</b> ・アスパラガス （～5月下旬） ・コマツナ ・シュンギク ・ニラ ・ブロッコリー など	～ マルチ資材あれこれ ～ マルチング（マルチ）資材を効果的に利用すると、①土壌の乾燥防止効果、②地温上昇効果、③雑草発生の抑制効果、④肥料分の流出防止効果など農作物の栽培に有用な効果を得ることができます。 マルチの効果は色や素材の違いによりさまざまです。自分の目的にあった資材を選んで使用しましょう。 <b>&lt;穴あきマルチ&gt;</b> あらかじめ穴が開けられているので、手間が省ける。 色や穴の間隔、条数などはさまざま。 <b>&lt;透明マルチ&gt;</b> 光を通すので、地温は上昇するが雑草は生えやすい。黒マルチと比べ、初期生育が旺盛になる。 <b>&lt;黒マルチ&gt;</b> 光を遮るので、雑草抑制効果がある。 <b>&lt;シルバーマルチ&gt;</b> 雑草防除や夏季の地温上昇抑制効果がある。 アブラムシの飛来防止効果がある。 <b>&lt;シルバーストライプマルチ&gt;</b> 黒マルチとシルバーマルチの効果を併せ持つ。

表 アブラムシに及ぼすマルチの効果

（広島農試、1974より作成）

マルチ種類	アブラムシ累積 飛来数		
	モモアカ アブラムシ	ワタ アブラムシ	全虫数
シルバーポリ	21	5	29
透明ビニール	54	24	83
黒ポリ	130	56	201
無マルチ	319	76	414

☞アブラムシの飛来防止にシルバーポリ（マルチ）の効果が  
 高いことが分かります。シルバーマルチの地温上昇効果は黒  
 や透明マルチより低いので、春先の使用では注意が必要です。



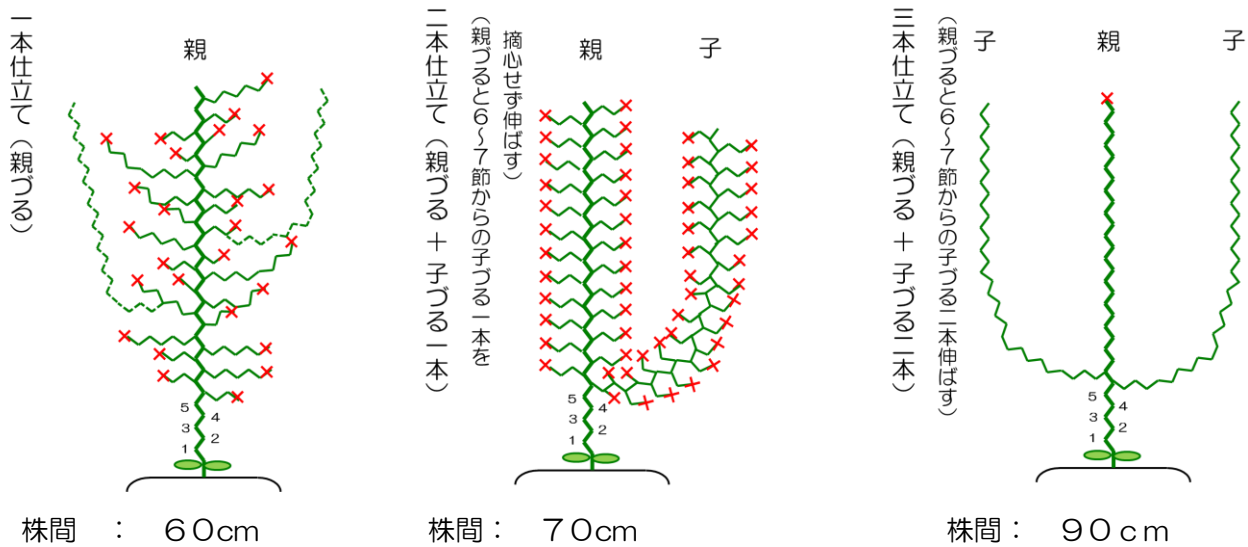
写真 マルチによる抑草効果

左 黒マルチ使用、右 無マルチ

## 農作物の管理法～露地キュウリ編～

### <植え付け幅・仕立て方法>

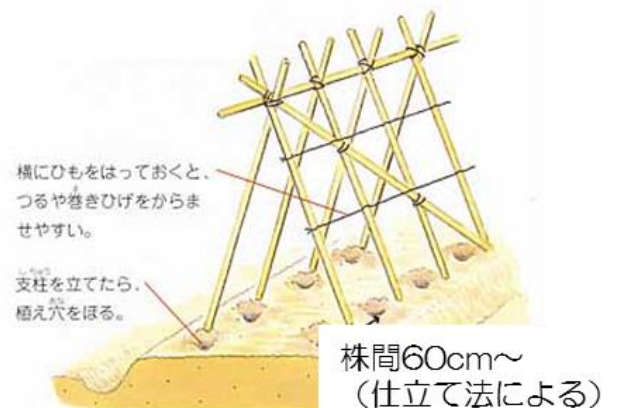
植え付け幅は、仕立て方法によって異なります。以下を参考に植え付けを行ってください。



※長期どりを行う場合は、上記の株間よりさらに広く株間をとるようにしましょう。

### <支柱立て（合掌式）>

いぼ竹などをイラストのように組み合わせ、ツルを絡ませるためにキュウリネットまたは横ヒモを張ります。



### <手入れ・整枝・摘葉等>

- ① 植え付け後、草丈が伸びてきたら親づるを支柱に誘引します。誘引は8の字にゆとりをもたせて結びます。
- ② いずれの仕立て方法でも5節までの側枝や雌花は除去し、10節までの側枝は2節で摘心します。
- ③ 活着不良や低温により生育が悪い場合は、2～3節上位まで雌花を摘花し、莖葉の生育を進めます。

### <かん水と追肥のめやす>

- ・キュウリは乾燥に弱いので、朝早くか夕方遅くなど涼しいときに水やりをしましょう。
- ・湿害が発生しやすくなるので、うね間に水がたまるほどの多量の水やりやうね上までのかん水は避けましょう。水はけが悪いほ場ではあらかじめ高うね栽培を行ってください。
- ・先端の葉やつるの勢い、葉の色などを見ながら追肥を行います。追肥間隔は5～10日程度で行い、1回の追肥で100㎡あたり、窒素とカリを100～200g施します。



### あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

### 技術事項作成協力

上小農業改良普及センター

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161